

第 1 回九段坂公園整備に関する地元協議会議事要旨

日 時：平成 29 年 5 月 29 日（月）午後 6 時から 7 時

会 場：九段上集会室（九段さくら館）

出席委員：6 名（九段一丁目～九段四丁目町会、九段商店街振興組合、九段環境整備協議会
靖国神社）

事務局：4 名（麹町地域まちづくり課長、景観・都市計画課長、道路公園課長、基盤整備計画
担当課長）

1. 座長選任

事務局より、九段坂公園の所在地である九段二丁目町会の町会長小野里会長を座長に推薦したところ、全員賛成により座長に選任した。

2. 北の丸公園周辺地域基本構想（素案）について

概要を事務局から説明した。

3. 九段坂公園整備の基本的な考え方について

事務局から、これまでの事前準備会の議論を踏まえ、九段坂公園整備の方向性について、5 項目の確認事項を説明し、出席者の理解を得た。ただし、それぞれについて、問題点は別途指摘し、対応を整理することとした。

- ① 九段坂公園と旧消防署跡地、千鳥ヶ淵緑道入口を一体的に整備します。
- ② 靖国通り・北の丸公園から千鳥ヶ淵緑道まで円滑な歩行導線を確保します。
- ③ 歴史や文化、豊かな自然環境をいかした安らぎのある空間を整備します。
- ④ お濠の水と緑、良好な都市景観が楽しめる空間を整備します。
- ⑤ 2020 東京大会までに安全・快適で魅力ある空間を整備するとともに、2020 以降のオリンピックレガシー（遺産）創出も念頭において整備します。

4. これまでの準備会における意見の確認

これまで、2 回の準備会でだされた問題点を事務局が説明し確認した。

- 九段下から千鳥ヶ淵緑道入口の間、イベント時や観桜期等の歩行者集中への対応が必要。歩道橋の撤去や架け替えができないか。歩道橋周辺において、靖国通りと九段坂公園の一体整備ができないか等。そのために、早稲田通りの車線減少などができないか。
- 銅像については、地域としての愛着があまりない。由来等の周知の努力が足りなかったことも影響している。
- 常明燈台の移設は可能性があるか。
（事務局）靖国神社の対応は困難、存置を希望。

5. 公園整備にかかわる課題に関する意見

- 歩道橋のスロープ化が靖国通り側で可能かどうか検証してほしい。

(事務局) 次回、資料を提示したい。

- 横断歩道の設置が可能であれば、歩道橋撤去も検討できないか。
- 銅像等については、設置された経緯もわからない。移設が可能か？

(事務局) 設置経緯を説明。また、品川像については作者が高村光雲という著名な芸術家であること、大山巖像についても明治維新の志士、元帥としてある程度の物語や理由、移設先の具体的なめどがなければ容易な撤去は難しいことを説明。大山巖顕彰碑については、傾いていることや顕彰碑本来の目的である大山元帥の軍功等がわからないことから、撤去し代替の表示物を設置することなどが考えられる。

- 銅像等靖国神社等に移設してはどうか。反対側三角地に移設できないか。
- 受け入れは、靖国神社としては困難

(事務局) 後日確認したところ、三角地は道路であり銅像の移設は法的に困難

- 燈台は現在の位置を基本としたライトアップも検討してはどうか。

(事務局) ライトアップも含め歴史資源として表示方法等について検討をしていくの説明。

- 消防署跡地に眺望台がほしいとの声がある。

(事務局) 2020年までは安全、快適な空間として整備しその後、施設設備を検討説明。

- 緑道と公園をつなぐ段差のないバリアフリーの導線を。
- 地域ではトイレは必要であるとの声がある。
- 仮設の対応でもいいのではないか。

(事務局) トイレについては、オリンピック後も見据えてどの程度のものが必要か、また、観桜期等混雑時とそうでない時期の差が激しいので、仮設トイレというのも一案。

- もともと樹木がなかった。現在鬱蒼としており、眺望も阻害している。整理して、質の良い空間にしてしまってもどうか。
- サイクルポートは、暫定的な設置と認識。将来は撤去。